

3年生国際系乗船実習（14日から15日までの様子）





帰路は大島沖で大しけに遭遇し、陣野含め生徒もほぼ全員瀕死状態になりました。「ドシン、ブルブルブル。」と船全体が振動します。気分が沈む状況でも、海洋科の先生方は普段通りに食事をし、体調の悪い生徒に声をかけていたのが印象的です。翌日佐藤真郷先生は次のように話をしました。「自分の弱さを認めること、できなかった時助けてくれる人がいる。それは相手を認め、良いところを見つけられること。社会に出たとき自分の役割を見つけられるようになる。」私も酔って動けなかった分、学校での仕事を頑張ります。館山沖に入り揺れがおさまってきました。教室からは生徒の元気な声が聞こえてきます。そして何度も見た東京湾入港です。JF や大型船から見慣れた景色は全く違って見えました。2日間かけて大阪から帰った東京。偶然にも 14 期生が乗る東光丸が出港するところでした。帽振れでエールを送りました。

長かったように思えた乗船実習も残りわずか。台風に負けずに頑張ってきます！

(文責 陣野)